

●はじめての方へ「かんたん説明書」編



取扱説明書

最新更新日：2019年5月

はじめての方、とにかく標準的な使い方を希望の方は本書をまずご覧ください。

防犯カメラ・ネットワークSDカード録画カメラ【130万画素・最大SD200GB対応】

●ライブ映像のモニタリング・画角確認はパソコン（IE11搭載のもの）が必要です。※別売モニタリングユニット経由で通常のモニタ接続可●



筒型

- ▼ 標準型
ES-CW392SW/C
- ▼ 録画動作中LED搭載型
ES-CW392SW2/C



ドーム型

- ▼ 標準型
ES-CD136SW/C
- ▼ 録画動作中LED搭載型
ES-CD136SW2/C



センサー型

- ▼ 標準型
ES-CC167SW/C
- ▼ 録画動作中LED搭載型
ES-CC167SW2/C

©ELEX_SYSTEM LLC.,Ltd. All Rights Reserved.

別冊「●基本・設定・運用編」と併読してください。

本書は「●基本・設定・運用編」2018年7月改定【第4版】に対応しています。

※ 以下作業は、本機がどのような流れで録画確認まで出来るのかまた機能概要を掴んで頂く事が目的です。従って本機を複数台お買上げ頂いた場合でもすべての台数を行って頂く必要はありません。

手順1 : まず本機に同じく同梱のmicroSDカードを挿入してみましょう。

同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、
●【P16】-「●本機へのmicroSDカードの挿入方法」
を参照してください。

※ 電源投入そしてSD挿入後、SD挿入口直近の赤いボタンを2秒長押しして録画開始！

手順2 : 本機を手元で配線して、アダプタ・LANケーブルを使ってパソコンに接続してみましょう。
同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、【P32】-「配線・接続例1」図のように接続してください。

ここですでにパソコンのLANポートにケーブルが接続されていた場合は、一度抜いて本機を接続してください。

※ 一時的にですのち程復旧します。

※ LANケーブルは別売付属品になっております。

手順3 : 本機を接続したパソコン側のネットワーク設定を行います。

同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、

【P20】-「手順2：パソコン側ネットワーク設定」
の通り設定を行ってください。とにかくここでは、

IPアドレス	192.168.1.126
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

にしてください。以降は、

【P22】-「●手順3：通信試験」
【P23】-「●手順4：本機へのアクセス」
【P28】-「●手順5：時刻修正」

の通りに進めてください。

▼裏面に続く▼

手順 4	： 本機で録画した映像をパソコンで確認したいので、再生ソフトその他をパソコンにインストールします。まずはソフトウェアのインストールです。同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、 【P58】-「27. ソフトウェアのインストール」 の通りインストールを進めてください。
手順 5	： 本機で録画した映像をパソコンで確認したいので、本機よりmicroSDカードを抜きます。microSDカードの抜き方は、同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、 【P17】-「●本機からmicroSDカードを抜きだす方法」をご覧ください。
手順 6	： 本機で録画した映像をパソコンで確認したいので、本機より抜いたmicroSDカードを同梱の「microSD-USB変換アダプタ」を利用してパソコンに接続します。その方法は、同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、 【P18】-「12. USB変換アダプタの使用方法」 をご覧ください。
手順 7	： microSDカードに入っている録画データと再生ソフトの紐付け設定を行います。 【P60】-「1. 準備編（パソコン 1 台に対して 1 回の設定）」 をご覧ください。 この紐付けを行う事により今後、microSDカードの中のファイルを単独でWクリックしただけで自動的に再生ソフトとリンクして再生映像が流れます。
手順 8	： 実際にmicroSDカードに入っている録画映像をパソコン上で見てみましょう。 【P62】-「2. 録画映像再生方法」 をご覧ください。
手順 9	： これで基本的な運用方法を概要を進めてきました。パソコン側の復旧作業に入ります。まず本機を接続しているパソコン側のLANケーブルを抜いてください。（※元々インターネット利用でLANケーブルが接続されていた場合はそれを戻してください） このままですと、本書「手順 3」で設定の変更を行ったので、インターネットが出来ない状態ですので、同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」の、 【P27】-「●作業後・インターネットが出来るように復旧するには●」 をご覧ください。

次の工程として設置工事ですが、同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」に工事に伴う説明が詳細に明記（設置条件、設置不可場所など）されております。

設置条件など詳細に書いてはありますが、一番のお勧めはノートパソコンなどお待ちでしたら、本書で経た手順で設置候補場所に本機を手で持って、映り具合を確認する方法をお勧めします。

本機とメインとなる被写体の距離感目安ですが、

● 通常監視距離目安	2～5m（人の顔が識別出来る範囲目安）
● 暗視赤外線LED照射距離目安	筒型（ES-CW392Sシリーズ）=20m ドーム型（ES-CD136Sシリーズ）=15m センサー型（ES-CC167Sシリーズ）=8m
● 動体検知距離	同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」で、 【P43】-「表 1」参照。

※ 動体検知録画（映像上に動きがあった場合のみ録画）の設定方法は、同梱の別冊説明書「●基本・設定・運用編」の、【P99】-「31. Motion detection（動体検知）録画設定方法」をご覧ください。

になります。

また、本機映像は基本的にはパソコンですが、パソコンがなくても別売モニタリングユニットを利用すれば、HDMIコネクタ付の一般のテレビやVGA入力付にパソコンモニターで本機の映像を見る事が出来ます。（※本機の設定変更などの操作は不可。ライブ映像のみ閲覧可能。）

【P30】-「14. 設置工事・準備編 1（ライブ映像モニタリング方法の検討）」 をご覧ください。

【最重要ご注意】microSDカードを本機に挿入後は、直近の赤い「録画開始ボタン」を 2 秒長押ししてください。